

# 「無線システム普及支援事業費等補助金 (民放ラジオ難聴解消支援事業)」公募要領

## 1 民放ラジオ難聴解消支援事業の概要

### (1) 事業内容

無線システム普及支援事業費等補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）第3条（2）エのとおり。

### (2) 実施主体

都道府県、市町村（複数の市町村の連携主体を含む。）、特定地上基幹放送事業者等（複数の特定地上基幹放送事業者等の連携主体を含む。）及び一般社団法人等

### (3) 交付対象経費の範囲

交付要綱 別表第2（8の項）のとおり。

### (4) 交付額

都市型難聴対策事業（交付要綱第3条（2）エ（ア）の都市型難聴対策事業をいう。）については事業費の2分の1を、外国波混信対策事業（同（イ）の外国波混信対策事業をいう。以下同じ。）及び地理的・地形的難聴対策事業（同（ウ）の地理的・地形的難聴対策事業をいう。以下同じ。）については事業費の3分の2を交付する。

なお、交付下限額が100万円のため、事業費200万円（外国波混信対策事業及び地理的・地形的難聴対策事業の場合は150万円）以上の事業を対象とする。

## 2 応募方法

### (1) 提出書類

応募に当たっての提出書類は以下のとおり。なお、押印は不要。

#### 1 公募申請書

#### 2 交付申請書

##### ア 申請書【交付要綱 様式第1号】

##### ① 補助事業の概要【交付要綱 様式第1号 別紙12】

##### ② 工事概要書（添付図面を含む。）【交付要綱 様式第1号 別紙2】

##### イ 整備計画書【無線システム普及支援事業費等補助金民放ラジオ難聴解消支援事業執行マニュアル（以下「執行マニュアル」という。）別添1】

##### ウ 契約予定内容に関する調査票【執行マニュアル別添2】

##### エ 補助事業に要する経費の見積書【執行マニュアル別添3】

「総括表」と「内訳表」の2つ。工事業者、機器メーカー作成の見積も添付（ウの見積者数分すべて）。

##### オ 口座設置届出書【執行マニュアル別添4】

##### カ 免許申請確約書【執行マニュアル別添5】

##### キ <連携主体の場合>連携主体の構成団体一覧

##### ク <連携主体の場合>連携主体の代表承認書

##### ケ 参考資料（共建の場合の費用按分の具体的方法を整理した文書、アからエまでを補足

する説明資料 等)

- ※ このほか、必要に応じてこれらを補足する説明資料（理由書等）を添付すること。  
公募の段階においては、正式な公文書の提出は不要。また、見積書についても、下見積で差し支えない。

## (2) 提出方法

次のいずれかの方法により申請可能。

- 1 管轄する総合通信局等（沖縄総合通信事務所を含む。）へ1通及び電磁的記録媒体1式を持参又は郵送による提出。
- 2 管轄する総合通信局等（沖縄総合通信事務所を含む。）へ電子メール又は総務省が指定する大容量ファイル転送システム等による提出。
- 3 補助金申請システム（JGrants）（<https://www.jgrants-portal.go.jp>）による提出。  
なお、提出書類の返却は行わない。

## (3) 提出期限

第一次締切：令和6年3月18日（月）12：00まで

第二次締切：同年5月17日（金）12：00まで

第三次締切：同年7月19日（金）12：00まで

※ 第一次締切に申請の案件から交付決定を行う。

※ 応募により予算額に達すると見込まれる場合、それ以降の受付を行わないことがある。なお、応募の状況によっては、第三次締切以降も応募を随時受け付ける場合がある。

## 3 評価基準・選定方法

### (1) 評価基準

- ア 民放ラジオ難聴解消支援事業の目的を満たしていること。
  - イ 計画の実施や事業の継続について、一定の確実性があること。  
（地域の実情を反映した効果的な事業であることが望ましいことから、地方公共団体の意向を反映したものである場合は、その点も考慮。）
  - ウ 技術上・制度上実現可能なものであること。
  - エ 事業の整備内容等が効率的又は効果的であること。
- 等

### (2) 選定方法

各申請主体から申請された内容について、評価基準及び交付要綱第7条第5項に基づき、外部の有識者の意見を聴取し、全体の申請状況及び予算額等を勘案して、総務省において事業採択の内示を行う。

### (3) 交付決定

上記（2）で事業採択の内示を受け、交付の本申請を行った団体に対し、総務省が交付決定を行う。ただし、交付決定に当たって追加の条件を付す場合がある。

### (4) 補助金の支払い

補助金は、交付決定内容に係る申請書に定められた用途以外への使用は認めない。また、補

助金は事業終了後速やかに実績報告書の提出を受け、補助金額を確定した後、精算払いにより支払う。

#### **4 スケジュール**

実施スケジュール（第一次締切）は、概ね以下を想定している。ただし、諸事情により変更することがある。

令和6年 4月中旬 外部有識者等からの意見聴取  
4月下旬 内示  
5月中旬 交付の本申請  
5月下旬 交付決定

第二次締切以降に提出された案件については順次対応する。

#### **5 その他**

交付要綱、執行マニュアル等の関係資料は、以下の URL に掲載。（関係資料については、内容を更新することがあるため、申請の際に最新版を確認すること。）

総務省ホームページ（「政策」>「情報通信（ICT政策）」>「放送政策の推進」>「放送ネットワークの強靱化に向けた支援措置」>「民放ラジオ難聴解消支援事業」）

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/housou\\_suishin/hosonet\\_kyojinka02.html](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/hosonet_kyojinka02.html)

#### **6 公募要領に関する問い合わせ先**

問い合わせに関しては、上記 URL に掲載される「執行マニュアル」を参考に、管轄する総合通信局等の担当窓口まで連絡すること。